

ふるさと 通信員だより

vol.168



私が町内の身近な
話題を紹介します♪

たかだ てつこ
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



南鈴蘭老人クラブ愛生会(高橋勲会長、会員145人)が、鈴蘭公園通などに花植えをしました。参加した50人はそれぞれ分担して公園八幡宮の駐車場横、若草児童館前などにマリーゴールドやサルビアなど合計750本の花を植えました。赤や黄色、オレンジの彩り鮮やかな花壇が完成。同会は、地域の美化活動に取り組んで今年で11年目を迎えます。毎月3日と18日は、草取りなどを自主的に実施。花壇近くに住む森下タケ子さん(83)は「時々のでいて花がら摘みなどをします」と手入れが楽しみだそうです。

自主的にみんなで
花壇作り



1976年に発足した音更音頭保存会(岡田哲男会長、会員85人)が、町の老人運動会や盆踊りなどに参加し、音頭を後世に残すための活動を展開しています。歌詞には町花のスズランや温泉の湯けむりなどを織り交ぜ、四季の移り変わりを歌っています。音更音頭がレコード化されて48年。町の発展と共に受け継がれ、心のよりどころとして愛され続けています。毎回練習に参加している瀬口かのんさん(鈴蘭小2年)は「踊れてよかった」と汗を流していました。岡田会長は「踊るチャンスがあったら手本になってください」と話していました。

音更に踊りの輪を